

003



イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：762千円

フェアトレード全国フォーラム2017 in Hamamatsu

目的・趣旨

日本の地方都市でのフェアトレード運動の広がりをつくるため、日本各地のフェアトレード活動団体や研究者が結集し、交流と議論を通し、その運動の強化と推進をはかる。また個人の研究の発表の機会とする。あわせて、浜松市のフェアトレードタウン認定の推進力とする。

日時・場所

平成29年11月19日 静岡文化芸術大学

体制

(実施代表者) 文化政策学部 国際文化学科 教授 下澤 嶺

共催・後援等

(共催) 浜松市

内容

午前中は、基調講演、パネルディスカッション「フェアトレードから地域を変える浜松を事例に」を講堂で実施。その直後に、浜松市がフェアトレードタウンに認定を受けて、認定式を実施することができた。午後は「フェアトレードタウンをめざそう」など、8つの分科会を各教室で実施した。夜は、パーティを生協食堂で実施し、関係者と浜松市のフェアトレードタウン認定を祝った。



パネルディスカッション



フォーラムで発表する岡山の高校生

結果・成果

フェアトレードに関する国際会議はすでに熊本で開催されていたが、国内の活動者が集うフォーラムは今回初めてで、関係者200名が全国各地から集まり、新たなネットワークを形成することができた。また、2017年7月に申請していた浜松市のフェアトレードタウンの認定が直前にされ、このフォーラムの中で、認定式を実施することができた。このフォーラム実施が、浜松市のフェアトレード活動の推進を強く担う結果となった。



浜松市のフェアトレードタウン認定式



参加者全員で記念撮影